

◆男子 (male)

犬伏 孝行  
Inubushi Takayuki 大塚製薬  
170cm、58kg、29歳  
第12回大会記録  
男子第32位／1時間07分41秒

第12回大会記録：男子第32位／記録：1時間07分41秒

1999年ペルリンマラソンで2時間06分57秒の日本最高記録（当時）で2位（日本人1位）となり。

マラソン界に旋風を巻き起こした。その後2000年東京国際マラソンで2時間08分16秒の4位（日本人1位）により、2000年シドニーオリンピックマラソンの日本代表となる。2001年ロンドンマラソンでは、2時間11分42秒、7位に入賞。今大会でも粘り強い走りが期待されたが、故障明けということもあり、少々抑え気味の走りで、本来の実力は出し切れなかったものの、今後の活躍を期待したい。

◆男子 (Male)

ジェフリー・シーブラー  
Jeffrey Mark Schiebler NEC  
175cm、54kg、28歳

※故障のため欠場

カナダから来日し、日本の実業団・NEC陸上部に所属。2000年シドニーオリンピックではカナダ代表として10000mに出場、28分30秒46のタイムをマーク。翌2001年の世界陸上選手権10000mにも出場、28分07秒06で13位。同年カージナルス招待陸上10000mでも27分36秒01で7位になるなど、トラック長距離や駅伝などで活躍中。

◆女子 (Female)

岡本 治子  
Okamoto Haruko ノーリツ  
154cm、40kg、27歳  
第12回大会記録  
女子第4位／1時間13分37秒

2001年世界陸上選手権10000mでは、32分14秒59で堂々9位。5000mでは、予選で自己新記録の15分23秒93の好タイムをマーク。同年の日本選手権では、5000m・10000mともに優勝。2002年大阪国際女子マラソンでは、2時間27分01秒の3位、日本人では弘山晴美（資生堂）に次ぐ2位となったことは記憶に新しい。  
今大会でも、大きなストライドで伸びるキレのある走りを披露して4位。

◆女子 (Female)

松岡 理恵  
Matsuoka Rie 天満屋  
150cm、40kg、24歳。  
第12回大会記録  
女子第8位／1時間14分15秒

初マラソンの2000年北海道マラソンで2位（2時間35分10秒）、2001年大阪国際女子マラソンでは2時間27分50秒で3位（日本人2位）入賞。これにより同年世界陸上選手権マラソン代表の切符を手にした。そこで記録は、2時間34分45秒で22位。ハーフマラソンは、98年山陽女子ロードレースで1時間10分08秒で優勝。  
今大会も小柄な身体から美しいランニングフォームとスタミナのある力強い走りで上位陣に食らいつき、8位入賞を果たした。

◆女子 (Female)

市川 良子  
Ichikawa Yoshiko 東京陸協  
161cm、48kg、25歳  
第12回大会記録  
女子第2位／1時間12分35秒

96・97・99年の日本選手権5000mで優勝し、96年アトランタ、2000年シドニーの両オリンピックにも5000mの代表として出場。ハーフマラソンは97年東京シティハーフで1時間08分18秒。クロスカントリーでも多くの実績を残している。2001年名古屋国際女子マラソンは2時間31分28秒で16位、同年東京国際女子マラソンは2時間29分18秒で8位入賞。

今大会も、スタート直後からエレナ・マイヤーと競い、途中離されたものの、堂々の2位。